

## 1. 開催概要

### 1-1 名称・愛称

名称:第38回全国都市緑化くまもとフェア  
愛称:くまもと花とみどりの博覧会 ~THE GREEN VISION 未来への伝言~

### 1-2 開催テーマ

森と水の都くまもとで 花と生きる幸せをつむごう

### 1-3 開催の基本理念

“森の都”の魅力再発見と  
“森と水の都”の発信

恵まれた自然環境を活かした取り組み、  
新たな緑のまちづくりの展開により、緑  
の魅力について再発見いただく機会と  
していく。

熊本地震への支援に対する  
感謝と復興のメッセージ

県内のすべての市町村と連携し、震災  
からの力強い復興と多くの支援に対す  
る感謝のメッセージを全国に発信して  
いく。

未来への導  
~未来へつなぐ、つなげる~

多様な主体が参加する取り組み(参加  
型)の展開によって、新たな担い手の育  
成、花と緑を愛でる心の育成、豊かな  
心の育成につなげていく。

### 1-4 主催者

提唱:国土交通省 主催者:熊本市、公益財団法人都市緑化機構

### 1-5 開催期間

2022年(令和4年)3月19日(土)~5月22日(日)の65日間

### 1-6 会場

#### 《メイン会場》

街なかエリア:熊本城公園、下通・上通・新市街ほか商店街、桜町・花畑一帯、白川河川敷  
水 辺エリア:水前寺江津湖公園(水前寺地区~広木地区、動植物園含む)  
まち山(立田山)エリア:立田山

#### 《パートナー会場》

- ①県内すべての市町村(45市町村)
- ②市内の各区の自然資源(託麻三山、八景水谷、金峰山、雁回山、白川公園etc)
- ③空港、駅、港、ターミナルなどの交通拠点

### 1-7 入場方式

無料を基本とする。但し、「熊本城」や「動植物園」など有料施設は、既存の課金体系とする。  
※パートナー会場は、会場の運営主体が定める入場料等の課金体系に準じる。

### 1-8 目標入場者数

3つのメイン会場で160万人以上の来場を目標とする。

### 1-9 事業費

概ね19億円とする。

### 1-10 イメージキャラクター

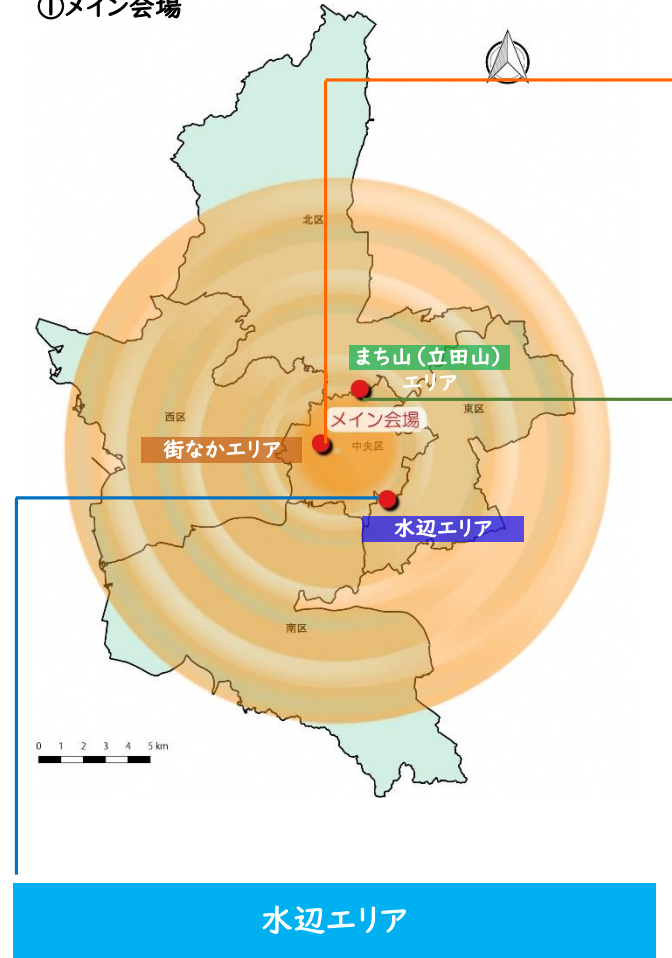
くまモン



## 2. 事業の概要

### 2-1 会場計画

#### ①メイン会場



水辺エリア

#### 《展開の方向性》

豊かな自然環境を有し、市民のオアシスである水前寺江津湖公園では、フェアを機にあらためて江津湖を訪れてもらい、江津湖を「学び」「楽しむ」事業を展開していく。

#### 主な展開事業

- ・関連団体と連携した様々な「学び楽しみ」事業  
→“湧水スポットめぐり”“水辺の生きもの観察ツアー”“歴史ガイドツアー”
- ・「和」を基調とした催しや展示のプログラム(水前寺地区)
- 【動植物園】
- ・市民で作る大花壇
- ・小学生、企業、各種団体による出展花壇(ガーデン) etc



### 街なかエリア

#### 《展開の方向性》

日頃から多くの方で賑わう街なかエリアでは、個々の気づきやきっかけにつながるような演出・プログラムを展開していく。

#### 主な展開事業

- ・熊本城天守閣完全復旧、内部公開
- ・各アーケード等での「緑と花のおもてなし演出」  
下通り:立体花壇等の特殊花壇 上通り:ハンギングバスケット  
新市街:庭園(坪庭)コンテスト
- ・各種団体と連携した体験、参加型プログラム  
フラワーアレンジメント体験、呈茶体験etc
- ・熊本城ホールを活用したシンポジウムの開催
- ・夜間演出(みずあかり、飲食店連携) etc



まち山(立田山)エリア

#### 《展開の方向性》

“森の中での自然遊び”を通して、暮らしに身近な緑である立田山を知り・学び、立田山の環境保全の取り組みにつながるプログラムを展開する。

#### 主な展開事業

- ・間伐材や竹材を活用した木育の展開
- ・自然観察会(植物、鳥)などの林内活用プログラム
- ・新緑に囲まれた癒しの空間づくり
- ・子供が来なくなる“キャンプ”“アウトドアイベント”の展開
- ・起伏と高低差を活かした健康プログラム(トレイルランニング)
- ・「仰松軒」を活用した茶会の開催(立田自然公園) etc



# 第38回全国都市緑化くまもとフェア 基本計画(概要版)

## ②パートナー会場

### ・県内すべての市町村(45市町村)

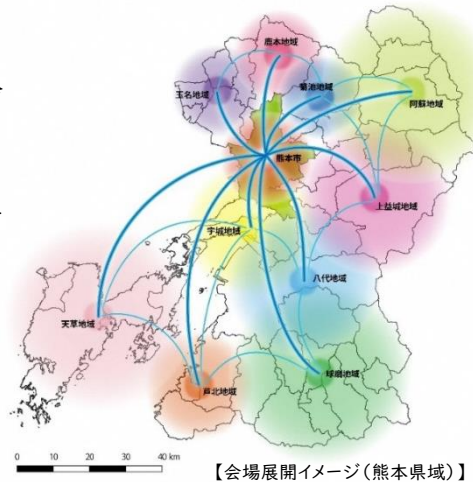
県内市町村の花や緑の名所等をパートナー会場として設定し、各会場を面的に結び付け、熊本の魅力を広く発信する。

### ・市内各区の自然資源

各区の自然資源を活用し、地域の魅力を掘り起すとともに、隠れた財産として広く発信する。

### ・空港、駅、港、ターミナルなどの交通拠点

多くの方が利用する交通拠点では、関係団体とも連携し、「おもてなし」の演出を展開する。



## 2-2. 展示・出展

### ①展示・協働

緑化技術を用いた展示、子どもたちや市民、団体の協働による展示を展開していく。

(主な事業)

場所	概要
下通り	緑化技術も用いた立体花壇の展示(企業・造園団体)
辛島公園	復興と支援への感謝を伝えるシンボル花壇の制作展示(市民県民)
動植物園	「花畑」での大花壇の制作展示(子どもたち)



### ②出展・コンテスト

暮らしに活かせる緑の展示や若手造園技術者を対象とした競技大会、暮らしの中で市民が参加する“花のある暮らしコンテスト”など様々な事業を展開していく。

(主な事業)

区分	場所	概要
造園技術者	新市街アーケード	技術者発掘、技能普及を目的とした造園競技大会
小学生	動植物園	小学生が育てたプランターによる沿道修景
市民	全域(庭・ベランダ)	花のある暮らしコンテスト



## 2-3. 植物調達監理

- 展示、修景に使用する植物は、くまもとの花卉の魅力を広げるために、県内産を積極的に活用する。
- 花卉材料は数量品種ともに多量となることから、生産者、流通業者、造園業者等による植物調達体制を構築する。

## 2-4. 観客誘致・広報宣伝

- フェアの準備段階から、身近な場所での目に見える開催周知活動を展開
- 県内の観光資源(歴史文化、食)等のストックを活かした観客誘致活動の展開
- Web、SNSなどのツールを活用した外国人観光客(インバウンド)の獲得

(主な展開)

主体	概要
市民・県民	街中でのバナー広報展開(市民・県民によるデザイン作成)
主催者	有名フラワーアーティストとのタイアップ(飲食店連携)
学生	広報PR(企画)選手権→優勝校のPR企画を採用展開



## 2-5. 行催事(公式行事・催事)

子どもから大人まで、花や緑を「見て」「触れて」「感じる」中で、様々な“気づき”が得られる催事を展開していく。

(主な事業)

区分	概要	概要
シンポジウム	都市緑化やまちづくりに関する各種シンポジウム	1年前・開催中
アレジメント教室	各アーケード(街なかエリア)	開催前・開催中
カウントダウンイベント	フェア開幕の1年前と100日前の節目に開催	1年前・100日前
ライトアップ	「みずあかり」とのタイアップによる幻想的空間演出	開催中



## 2-6. 会場運営・交通輸送

### ①会場運営

- 「また来たい」を獲得する“おもてなし”溢れる会場運営
- メイン会場の情報や県内市町村の様々な情報をリアルタイムに検索できるサービスを構築
- 市民、県民が広く「くまもとフェア」に参加できるボランティア運営体制の構築



### ②交通輸送

- 公共交通機関(市電・バス)による交通輸送を推進するとともに、会場間の回遊性を高める交通輸送体制を構築
- GWなどの繁忙期における自家用車対策(自家用車来場の抑制等)実施

## 3. NEO GREEN PROJECT

- “花”や“みどり”を楽しみ、親しみを持ち、身近に感じられる催しをフェア開催前から開催後にかけて展開
- 地域団体や企業など、多様な主体の参画と協働による魅力ある緑化空間を創出
- 継続的な緑化運営を支えるリーダーの発掘・育成や専門技能者のスキルアップ

区分	概要
地域花壇	まちづくりの一環としてすべての世代が参加できる花壇づくり
スポンサー花壇	中心市街地などの花壇を企業等をスポンサーとして運営管理
緑のマイスター	緑化活動のリーダーとなる緑の専門的な知識を有する方を認定



## 4. 事業スケジュール

円滑な事業推進・協力連携等を目的として、経済、観光、造園等の関連団体等で構成する実行委員会を設立する。

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
事業計画	基本計画	実施計画	実施運営・開催準備	撤去
		会場設計	会場整備	
実行体制		実行委員会 設立・総会	実行委員会 総会	実行委員会 総会
				くまもとフェア 3/19~ 5/22
				実行委員会 解散